



# 「やまびこ通信」

## ■ 令和元年度試験研究がスタート

試験場内の樹木も新緑から日ごとにその緑の濃さを増してきました。さて、平成から令和へと改元され、当场では研究・普及スタッフ一同、新たな気持ちで林業の振興に寄与する技術開発や試験研究に取り組んでいます。

「低コスト林業推進技術」、「健全な森林づくり技術」、「紀州材の需要拡大のための利用・加工技術」、「特用林産物の安定生産技術」の4つを重点項目として、農林水産業競争力アップ技術開発事業では、昨年度からの継続3課題に加えて、皆さんから提案いただいた要望のうち2つの課題が新たに採択され、試験研究に着手しています。



また、本県の林業にとって将来的な課題解決につながる新たな技術開発の材料を蓄積するため、基礎研究にも引き続き積極的に取り組んでいきます。

なお、研究課題によっては当场が関係機関と共同研究するものや、林地や山菜栽培地などを研究フィールドとして、また、県内製材加工等の施設を製品開発やデータ収集する場所として利用させていただくこととしています。

本年度も当场の着実な試験研究の推進に御支援と御協力をお願いします。

そして、2月には本年度の研究成果を各研究員から皆様に御報告する「林業試験場成果発表会」を開催する予定です。その折には是非、多くの皆さんに御参加いただきますよう併せてお願いします。

(場長 田上 耕司)

## 令和元年度 農林水産業競争力アップ技術開発事業の新規2課題がスタート！

### ■新種クマノザクラの保全と活用に向けた大量増殖及び更新技術の開発 (H31~R3)

クマノザクラはサクラ野生種としては約100年ぶりの新種で、開花期が早く花が良く目立つといった特徴があります。しかし、クマノザクラは他のサクラ類と交雑



クマノザクラの花

してしまうことが分かっており、雑種となってしまった苗が拡大してしまうとクマノザクラ本来の特徴が失われてしまう危険性があります。

そこでクマノザクラを保全し活用するために、特別な設備や技術を必要としない挿し木や接ぎ木による効率的な増殖技術を開発します。



挿し木による増殖試験

### ■捕獲困難な個体を生み出さない効率的なシカ捕獲技術の開発【果樹試験場と共同実施】

(H31~R3)

シカの適切な個体数を維持するために捕獲が強化されていますが、汎用されている囲いワナでは、周辺のシカが捕獲時に扉の落下音に驚き警戒心を高め、捕獲困難な個体(スマートディア)となる恐れがあります。

シカの警戒心を高めることなく持続的な捕獲を可能とするために、シカの行動分析を行うとともに、農地と林地での効率的捕獲技術を確立します。



シカ捕獲用ワナの一例

## 令和元年度 研究スタッフの紹介

### ■経営環境部

岩畑 忠司：部長  
日下 昭宏：獣害対策（捕獲）、林業機械  
法眼 利幸：病虫獣害対策  
山下 由美子：造林・育林  
的場 彬通：育種、種苗生産  
〈中辺路試験地〉  
城戸 杉生：種苗生産

#### 【トピックス ー研究スタッフの紹介ー】

本年度より林業試験場に配属となりました的場彬通と申します。私は採用三年目で林業振興課木材産業班からこちらへ異動となりました。業務は前述しましたクマノザクラの研究と育種関係の少花粉スギや抵抗性マツ、近年注目されているコンテナ苗などの試験研究に取り組んでいます。どちらの分野も私にとっては初めてなので、日々勉強しつつ業務に励んでいます。不明な点が多いクマノザクラの増殖法を解明するため、また和歌山県の育種を支えるため、しっかりと頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。（的場）



### ■木材利用部

東山 貢：副場長（木材利用部長）  
池田 丈彦：庶務担当 林業普及指導員  
坂本 淳：木材強度・木質バイオマス  
岡本 憲治：木材加工・保存・乾燥

#### 【トピックス】

県内の人工林は、高齢級化と原木（特にスギ）の大径化が進行しています。今後、供給増加が見込まれるスギ大径材の需要拡大に対応するため、梁・桁を主とした心去り製材品（樹芯を避けて製材された木材）の生産技術の確立ならびに強度データの解明を目的とした試験調査を本年度から始めました。（坂本）



大径原木の調査状況  
（振動解析器使用）



心去り製材品  
（10.5×15.0×300cm）

### ■特用林産部

坂口 和昭：部長  
田中 作治：花木の栽培管理、紀州備長炭  
杉本 小夜：山菜、きのこ、木の実  
中谷 俊彦：研究業務の補助

#### 【トピックス ー研究スタッフの紹介ー】

本年度より林業試験場に配属になりました田中作治と申します。試験研究は初めてですが、サカキの葉に白い斑点被害が現れるオビヒメヨコバイ族の一種（新種）の薬剤散布と施業による防除技術を確立するため、現在、研究を行っています。



今回、葉裏に産みつけられた卵から幼虫が孵化するシーンの観察、撮影に初めて成功しました。（田中）



葉裏の卵から孵化中の1齢幼虫

#### ～ 中辺路試験地だより ～

##### スギ苗木増殖の接ぎ木挿し木講習会を実施

少花粉スギ苗のクローン増殖を普及するため、県内の苗木生産者を対象に、2月27日に中辺路試験地において、接ぎ木と挿し木の技術講習会を実施したところ、14名の参加がありました。講師には国立研究開発法人関西育種場から講師4名を招いて、詳細な説明と技術指導をいただきました。

今後は、平成29年度花粉症対策基盤整備事業で造成した採穂園（0.7ha）から穂木の採取が見込まれるので、生産者の皆さんには増殖への期待と県内山林への植栽が望まれるところです。（城戸）



\*\*\*\*\*

##### 編集・発行 和歌山県林業試験場

〒649-2103 西牟婁郡上富田町生馬1504-1

TEL：0739-47-2468 FAX：0739-47-4116

\*\*\*\*\*

※『やまびこ通信』は「和歌山県林業試験場のホームページ」にもアップしています。